

アドバイザーのおススメ・クラブ

【FILE. 16】

設立10年、新しい公共の担い手に向けて

NPO法人 さばえ スポーツクラブ

福井県 鯖江市

【クラブの特徴】

平成10年から準備に入り、平成12年、福井県で初めての総合型地域スポーツクラブとして設立しました。今から思うと、この時の設立準備委員会メンバー構成がクラブのカギでした。いろんな職種の方が招集され議論を重ね、理念、目的を創り上げました。当時は、帰宅が夜中の0時を越える日々が続いたそうです。議論の中で出されたのは、子どもたちの地域離れの話でした。



地域の中で子どもを育てていく為にも中学校との連携は必要だという想いで、教育委員会、学校教員、保護者に説明を重ね、ようやく平日は運動部活動、土日はスポーツクラブの活動と位置づけました。正直、当時は反対の先生方もおられました。

【学校との連携】

さばえスポーツクラブの特徴の一つに、「コミュニティルーム」があります。学校の空教室を利用して、今で言うクラブハウスを設けたことです。朝と昼に地域の関係者が交代でルーム当番をして、会員受付などをやりながら、隣ではピンポンを楽しんだり、バトミントン用具を貸し出したり、将棋をしたりする子どもたちを見ている環境を作ったのです。地域の人学校へ出入りすることで、子どもたちへよい影響をもたらすと考えたのです。



時代背景と学校の事情で、ルームが点々と変わり、特別支援教室の間借りの時もありました。当時は、各方面から賛否両論ありましたが、生徒に「とってもよかった」と言われ、今では喜ばれています。現在は、空教室がないので、昔、購買場所だった所へ移動していますが、少しでも生徒との関わりを持てるよう心掛けています。

そして、更におもしろいのが、「芝刈り七輪隊」があることです。学校の中庭の芝をボランティアで刈り込んでいるのです。隊を結成し定期的に整備し、その後、七輪でいろいろ焼きながら飲む、これが本当の目的かもしれませんが、以前は、校長先生はじめ先生方も参加していたようです。

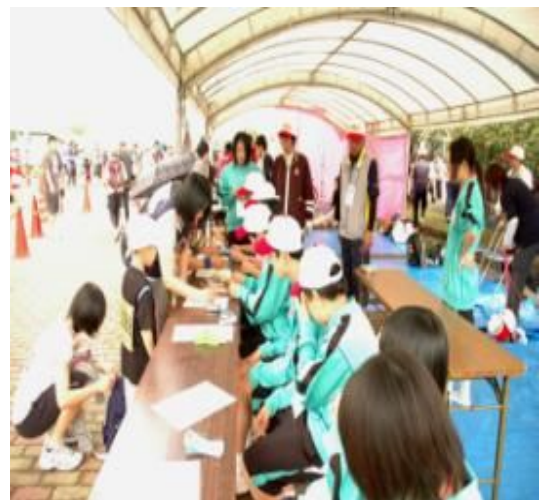


【部活との連携】

土日をスポーツクラブ活動と位置づけたことで、クラブとして市の施設を利用することができ、種目によっては学校施設のみを使用する場合と違って会場を有効に利用できるメリットや、先生方が都合が悪い時に地域の人が見てくれるといった面や、先生の異動や、先生が得意でない部活を担当された場合でも連携することで有効な場面は多くあります。しかし、信頼を持てるように、今後もお互いによく話し合っていかなければなりません。

【ボランティアへの参加】

鯖江市では、春に「つつじマラソン」を毎年行っています。準備の一役に、さばえスポーツクラブが関わり、地元中学校の生徒たちがボランティアとして参加しています。準備から運営まで行い、非常に助かっています。少しの手間賃も出るのですが、そのさばえスポーツクラブに入ってくる謝金等を部活の運営費にあてています。今は、子どもたちの力なくしては、マラソン運営はできないかもしれません。しかし、本当は、生徒たちもたくさんマラソンに参加してもらおうほうがよいのではないかと思います。



【発達期の運動参加】

クラブでは昨年から取り入れている「遊びの体力・知力アップ教室」に力を入れています。長く運動を好きであってもらうきっかけづくりに、幼児期の基本的運動は欠かせません。遊びの中で覚える感覚が、昔と比べると随分変わってきています。ボールを投げられない、転んで手が付けないなどは典型的な例です。同時に、運動をすることで脳の発達はよくなり、知力にも影響を与えます。就学前、小学校低学年の子どもたちを大切に育てていくことは、いろんな意味で重要と感じています。



【さらに、目標を持って】

今年度、「スポ婚」という企画をやりました。一般的に時間にゆとりのある子どもたち、お年寄りなど運動の機会が多い年齢はよいのですが、やはり時間のゆとりを持つことが難しい若者層、働き盛りの運動参加が少ない現状は否めません。運動のきっかけづくりに婚活とスポーツを結びつけてみました。予想外の反響で、今後につながるおもしろい企画になりました。



また、意外な種目に人気が出てきています。ボクシング、なぎなたなどはその最たる例です。

クラブではこのように更に新しい情報提供ができるように心掛けたいという想いと、更にしっかりした事務局、組織体制を創りたいと願っているようです。



■アドバイザー's eye

さばえスポーツクラブは福井県では大きなクラブです。常に、見本となるべく内容、活動を求められます。現在は、行政の後押しもあり順調に運営しています。しかし、今後の運営に関しては少し不安を抱えています。先の方向性を見据えて基盤づくりをしていきたいものです。

鯖江市では指定管理を市体育協会に任せていますが、施設使用料を無料とする場合の多い市協会と、受益者負担のクラブでは考え方が異なります。よく話し合い、考え、もっともよい方向性を確認したいものです。

県は、2順目国体を控え、ようやく競技スポーツと同時に、生涯スポーツの必要性も感じてきたように思います。総合型クラブがその担い手になれるよう、新しい公共の担い手になれるように、さばえスポーツクラブがお手本を見せてほしいものです。

箕輪 喜通（福井県クラブ育成アドバイザー）

■クラブ概要

- 設立年月日 : 平成12年9月1日
- 対象地域 : 鯖江市中心部
- 対象人口 : 68,000人
- 会員数 : 1,100名
- 年間予算 : 10,500千円
- 年会費 : 個人会員5,000円・ファミリー会員12,000円
- 使用施設 : 中学校／市体育館／スポーツ交流館
- 事務局 : 福井県鯖江市宮前2丁目9番1号
- E-MAIL : sabae-sc@dune.ocn.ne.jp
- OHP : <http://www.sabae-sc.or.jp/>